

# 巻 頭 言

一般社団法人 日本数学会 理事長

清水 扇丈

この度、日本数学会理事長に就任することとなりました。甚だ微力ではございますが、ダイバーシティを念頭に置いて、年齢、性別、経歴、所属機関に関係なく多様性を活かして活躍できる数学会を目指してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

「数学は科学の女王である—Die Mathematik ist die Königin der Wissenschaften —」というガウスの言葉に象徴されるように、数学は科学の根幹をなします。数学で論理的に正しく真と証明された定理は、1つの例外もなく成立し、永遠に正しいという特性をもちます。証明された定理は汎用性をもち、数学に限らず、科学や情報、また経済や医学に信頼できる理論として応用されます。このような数学の研究を支えているのが日本数学会です。

日本数学会の最も重要な活動は春の年会と秋季総合分科会です。2019年9月の金沢大学での秋季総合分科会では、角間キャンパスのゆったりとしたフリースペースで数学の議論に花を咲かせた方も多いと思います。このとき、半年後の年会で再び会えることに何の疑念もありませんでした。実際、日本大学理工学部では駿河台キャンパスでの2020年3月の年会に向けて準備万端の状態でした。しかし、未曾有のコロナウイルス感染症の蔓延により、寺杉理事長と大会委員長の本橋先生、実行委員長の平田先生を中心に約3週間前に対面開催を中止するという苦渋の決断がなされました。2020年9月の秋季総合分科会は、熊本大学において黒髪キャンパスでの対面開催に向けて準備が進められていました。4年に一度、日本数学会は韓国数学会（KMS）とMSJ-KMS Joint Meetingを開催しております。2020年秋はこのJoint Meetingの開催の年にあたり、熊本大学には、秋季総合分科会に加え、前日のJoint Meetingもお引き受け頂いていました。大会委員長の山田先生、実行委員長の原岡先生を始め関係者の方々には、どのような開催になるか不透明な状況の中で準備を進めて頂きましたが、対面開催はできませんでした。2021年春の慶應義塾大学では、本格的なオンライン開催に向けて舵を切りました。伝統的な対面開催とは全く異なりマニュアルのない中で、大会委員長の種村先生、実行委員長の栗原先生を始めとして関係者の方々の試行錯誤を経てZoomも併用した開催となりました。向井茂先生が総合講演「代数多様体とその対称性—K3曲面とその仲間たちを中心に—」において、コロナ禍でなければ後半の結果を得ることはできなかったとお話しに

なり、コロナ禍の厳しい状況の中で研究に邁進される姿勢に感銘を受けました。2021 年秋は千葉大学です。GW 前後の変異株の蔓延により止むなくオンライン開催を決定しましたが、対面開催を目指して大会委員長の久我先生、実行委員長の松井先生をはじめ数学・情報数理学教室の方々は最大限の努力をしてくださいました。この数学通信が発刊された後に千葉大学でのオンラインの秋季総合分科会が開催されることとなります。1 年延期となりました MSJ-KMS Joint Meeting も同様にオンラインで開催されます。このように年会と秋季総合分科会は、開催校の多大なご尽力のおかげで実現されておりますこと、ここに厚く御礼申し上げます。また学会申し込みのオンラインシステムを管理してくださっている内藤久資先生と久保仁先生のご尽力に対しましても、この場をお借りして深く感謝申し上げます。このコロナ禍で試行錯誤したオンライン開催ですが、今後想定しないオンライン開催せざるを得ない事態に役立てるべく、その知識・技能を蓄積していく所存です。

学会以外の日本数学会の活動として、出版事業は学術情報発信に重要な役割を担っております。特に、欧文雑誌“Journal of Mathematical Society of Japan”は第 1 級の国際雑誌として世界的に認められています。邦文雑誌「数学」は論説を始め学術的価値の高い数学会の誇る雑誌です。当「数学通信」も会員向けに有益な情報を提供しております。

国際交流活動として、加藤敏夫フェローが 2019 年に創始されました。これは加藤敏夫博士の遺贈金による事業で、東南アジア在住の若手研究者を日本の大学・研究所に招聘し、研究滞在を通して次世代の東南アジアを担う逸材を育成する試みであり、1 年間に 1 人を採択し日本滞在のための奨学金を支給します。AIMS (African Institute of Mathematical Sciences) との交流事業を行っており、2020 年度は 2 月にコロナ禍の中、木村芳文先生にリモート講義を行って頂きました。2004 年に大韓数学会、2008 年に台湾数学会と交流協定を結び、毎年相互の学会に参加することにより交流を深めております。また、学会賞などの顕彰事業は、実際には陰で多くの方々の専門的知識に支えられています。

そして、出版委員会、学術委員会、広報委員会、教育委員会、男女共同参画社会推進委員会、情報システム運用委員会、教育資金問題検討委員会、編集委員会、社会連携協議会など、多くの委員会により数学会の活動が担われております。

2022 年春は、埼玉大学で年会が開催されます。4 回にわたり数学会がオンラインを中心とする会合となりましたが、待ちに待った対面開催により活発な数学の議論ができるよう、コロナが収束していることを祈念しつつ筆を擱きます。